

平成30年7月豪雨災害の現状について (第37報)

1 人的・物的被害の状況 (6/17 10:00現在)

(1) 人的被害

区分	人数	備考	
死亡	28名	直接死	25名 天応12名, 吉浦3名, 安浦4名, 中央2名, 阿賀1名, 音戸2名, 蒲刈1名
		関連死	3名
負傷	22名	重傷5名, 軽傷17名	

※ 負傷者数は、豪雨災害の直接起因による人数 (7/6~8)

(2) 家屋の被害状況 (6/16 18:00現在)

全壊	大規模半壊	半壊	一部損壊	床下浸水	計
323	133	765	1,251	740	3,212

※ り災証明に係る現地調査完了件数による。

(3) 公共施設等の被害状況 (H31.2.28現在)

区分	被害施設数・箇所数等	主な被害施設等
① 公共施設 (学校, 福祉, 環境衛生, 産業振興施設等)	72施設	天応市民センター, 天応中学校, 安浦中央保育所, 呉市斎場, グリーンピアせとうち
② インフラ	941か所	
公園	12か所	二級峡公園, 串山公園
土木施設 (道路・河川等)	342か所	市道内海市原線, 真光寺橋
農林施設 (農道・林道等)	251か所	農道豊浜大橋線, 林道郷原野呂山線
港湾・漁港施設	24か所	川原石第1物揚場, 仁方川尻新開護岸
上下水道施設	312か所	二級水源地, 柳迫第一ポンプ所
③ 普通財産	21施設	山林 (苗代町, 豊浜町, 川尻町)

2 避難勧告等の発令基準の特例運用

地区・町名		土砂災害	洪水災害
安浦	安浦町大字中畑	○	○
	安浦町中央北1丁目, 安浦町中央1~5丁目, 安浦町内海北1~4丁目, 安浦町内海南1丁目	-	○

3 仮設住宅等の状況 (6/17 10:00現在)

住宅の種類	入居世帯数	備考
公営住宅等	32世帯	市営22, 県営9, 民間社宅 (中国電力) 1
応急仮設住宅	借上げ型	119世帯 民間借上住宅
	建設型	58世帯 天応40, 安浦18
合計	209世帯	

※ 応急仮設住宅等における提供期限が近づいている方については、個々の事情に応じ、提供期間の更新、公営住宅の優先入居などの対応を行っています。提供期限を超えた方については、関係機関と連携し、本人の意向を踏まえて対応しています。

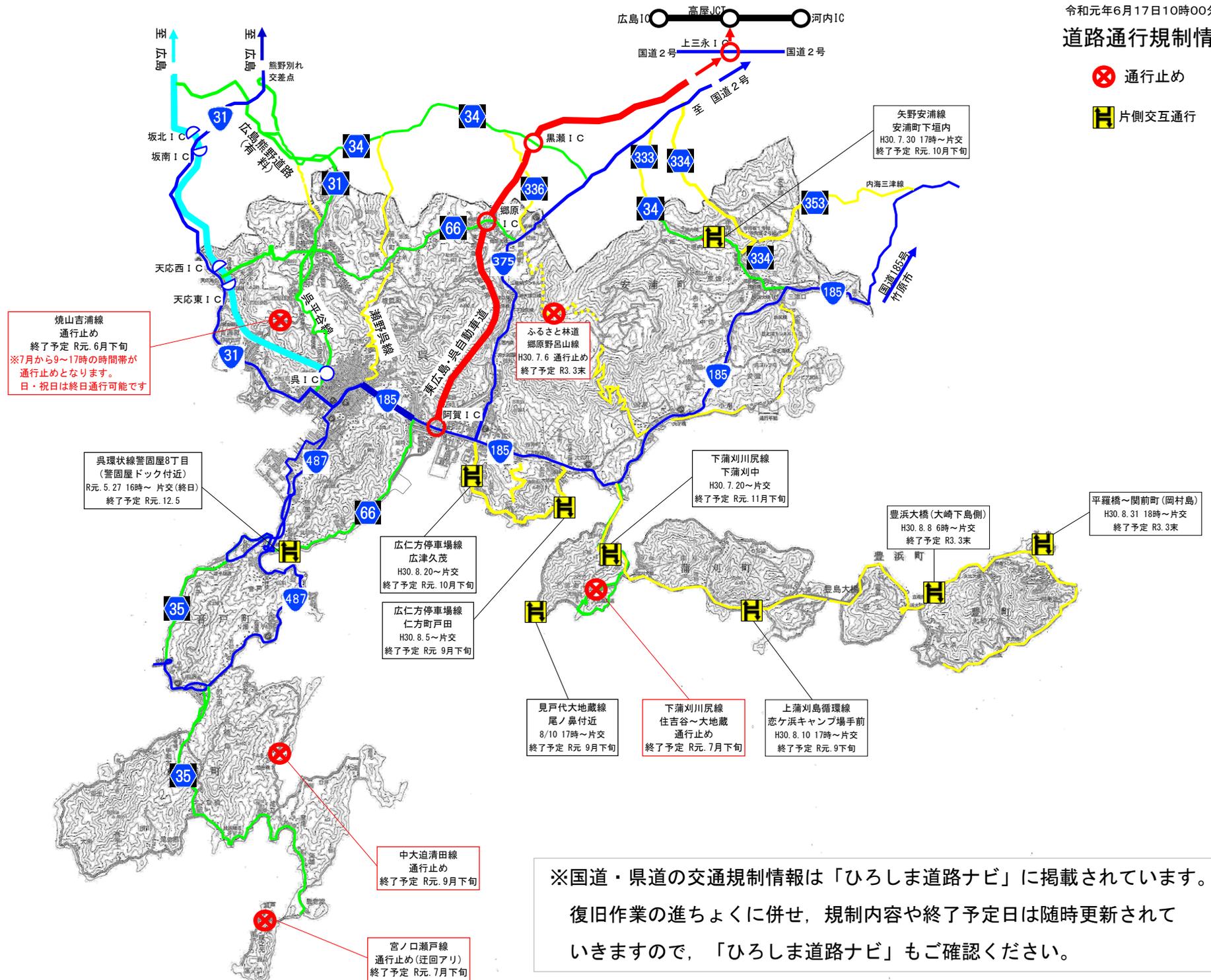
4 規制中の道路 (6/17 10:00現在) 【別紙参照】

※ 6月10日10時時点からの状況の変化なし

道路通行規制情報

通行止め

片側交互通行



※国道・県道の交通規制情報は「ひろしま道路ナビ」に掲載されています。
復旧作業の進ちょくに併せ、規制内容や終了予定日は随時更新されていきますので、「ひろしま道路ナビ」もご確認ください。

令和元年6月18日

都市部 交通政策課
(交通対策プロジェクト)

「通勤交通強靱化訓練」の実施について

平成30年7月豪雨時の教訓を踏まえ交通マネジメントのあり方等について、「広島・呉・東広島都市圏災害時交通マネジメント検討会」を設立し議論を進めています。

その一環として、再度の災害発生時の渋滞による交通混乱を最小限に抑制することを目的に、広島・呉・東広島都市圏の企業、学校、行政機関へ勤務されている皆様方と協働し、昨年が発災から1年が経過する7月に「通勤交通強靱化訓練」を実施します。

なお、本件の記者発表は、国土交通省が令和元年6月17日(月)に行っています。

1 訓練の概要

- (1) 実施期間 令和元年7月23(火)～25日(木) (3日間)
- (2) 対象者 企業、学校、行政機関に勤務されている方(広島・呉・東広島都市圏)地域住民(主旨に賛同頂き自主的にご協力頂ける方)
- (3) 実施概要 公共交通機関や自転車での出勤、時差出勤、相乗り出勤等詳しくは別添チラシをご覧ください。

2 訓練の周知

都市圏内の主要企業に対して企業訪問を実施。加えて、中経連・教育委員会・自治体を通じて周知を行い、企業・学校・行政機関の訓練参加・協力を依頼します。

・訪問企業

広島市：従業員1,000名以上の事業所(6社)

呉市・東広島市：従業員100名以上の事業所

呉市(36社)

東広島市(16社)

- ・その他、中経連加盟304社、学校196校、行政機関48か所に依頼。

3 その他

- ・広島・呉・東広島都市圏災害時交通マネジメント検討会で取り組んできた「災害時MM」平成30年7月豪雨発災後の広島～呉間の交通マネジメント」が令和元年度JCOMMプロジェクト賞に受賞が決定しました。

○参考

【今回の受賞について JCOMM 実行委員会から】

西日本豪雨災害による渋滞対策や移動手段確保といった緊急性が求められる状況下において、TDM/TSM 施策を複合的かつ迅速、また確実に実施されています。また一過性の取組ではなく、今後の災害対応への継続的な取組が進められている点も評価され、JCOMM プロジェクト賞として選定されました。

【JCOMM 法人について】

一般社団法人日本モビリティ・マネジメント会議（JCOMM 法人）は、適切な形のモビリティ・マネジメント（MM）が日本国内において効果的に広範に推進されていくことを支援することを目的として、日本モビリティ・マネジメント会議（以下、JCOMM）の持続的な開催・運営を主たる事業として展開していくための法人です。

【JCOMM プロジェクト賞】

モビリティ・マネジメントの一連の取り組みの中で実施された「実務的な一プロジェクト」の中でも、とりわけ、都市・地域のモビリティの質的改善や渋滞、環境問題、公衆の健康増進問題や都市構造問題などの交通に関連する諸問題の緩和に実際に大きく貢献し、諸問題の抜本的緩和に繋がり得る新規性を持ち、およびその完成度・応用可能性や取り組み姿勢がすぐれたプロジェクトについて、個人（複数可）あるいは団体（複数可）を対象として授与する。

通勤交通強靱化訓練の概要

- 災害時の大渋滞の一因となった過度な自動車依存から脱却すべく、地域住民と協働してふだんの通勤交通を見直す「通勤交通強靱化訓練」を実施します。
- 広島・呉・東広島都市圏の企業・学校・行政機関に勤める皆様に交通手段転換や時差出勤などの通勤交通を見直すご協力をいたたき、都市圏の交通渋滞に与える影響を検証していきます。

現況

- 朝の通勤通学時間の渋滞
- 公共交通の利用者減少
- 増加するCO₂排出量
- 災害時の自動車依存と企業活動の停滞

7/17(火) 被災後の国道31号の渋滞



企業モビリティ・マネジメント

各企業で通勤や出張時の交通手段等を見直してみる取組



「できることから」「できるペースで」
「できる人から」「やりやすく」
通勤交通手段等の見直し



通勤交通強靱化訓練

訓練期間

2019年

7月23日(火) ~ 7月25日(木)

【訓練の一例】

- 普段より1時間早く、あるいは遅く、自宅を出発する。
- 電車、バス、フェリーで通勤する。
- 自転車、徒歩で通勤する。
- 自宅が近所の同僚と相乗りで通勤する。
- 職場の近くに宿泊する。
- 会社が運行する送迎バスで通勤する。
- 在宅勤務にする。



いざという時に役立つ通勤交通手段を使いこなそう

通勤交通強靱化訓練



令和元年 7月23日(火)~25日(木)

広島・呉・東広島都市圏相互の 通勤区間で通勤時間帯に実施

毎朝の通勤の仕方を工夫することで、よりスムーズな通勤が可能になります。

平成30年7月豪雨に伴い発生した大渋滞を再び繰り返さないためにも、過度に自動車へ依存しない通勤のあり方をみんなで一緒に考え、実践してみましょう。



広島・呉・東広島都市圏災害時交通マネジメント検討会

広島大学大学院、呉工業高等専門学校、中国経済連合会、広島商工会議所、広島県旅客船協会、広島県バス協会、西日本旅客鉄道(株)、広島電鉄(株)、経済産業省、国土交通省、広島県、広島市、呉市、東広島市、西日本高速道路(株)、広島県道路公社、広島高速道路公社

通勤の仕方を工夫して 渋滞のないスムーズな1日スタートしましょう。

便利なのはマイカーだけじゃない！



◆ 交通手段を変更してみよう！

天気のよい日には自転車や徒歩で移動する、電車やバス・船で利用するなど、自動車から別の手段に変更することで、渋滞に巻き込まれないスムーズな通勤が期待できます。

出勤時間をずらして渋滞を回避！



◆ マイカーで時差出勤してみよう！

家を出る時間を少し早め、渋滞が発生する時間帯を避けて通勤することで、渋滞に巻き込まれないスムーズな通勤が期待できます。

よくよく考えると…1人1台は非効率！



◆ 相乗り通勤してみよう！

同じ方向から通勤する職場の同僚などと相乗り（ライドシェア）して、自動車の走行台数を減らし、渋滞の削減につなげます。

職場にいなくても仕事はできる！？



◆ テレワークという手もあります！

情報通信技術を活用した、場所や時間にとらわれない柔軟な働き方のことです。自宅やサテライトオフィスで働くことで、移動の手間を省くことができます。

今年2月にも 通勤交通を変更する 社会実験を行いました。

去る平成31年2月末の3日間、12機関・231名の方にご協力いただき、マイカー通勤以外の方法で通勤する実験を実施した結果、実験実施区間の渋滞が緩和されました。ご協力いただいた方々に御礼申し上げます。

今回の訓練では、より大きな効果を目指しておりますので、是非ご参加・ご協力の程、宜しくお願い致します。

実験実施概要

呉市の企業等にご協力いただき、マイカー通勤を控える「通勤交通強靱化に向けた取組み」社会実験を実施しました。

実験実施日：平成31年2月26日～28日

参加機関数：12機関

参加者数：3日間のべ231名（2月26日：76名、27日81名、28日：74名）

実験に自主的に参加されている方は上述の数値に含んでいない

≫実験の結果、国道31号*の渋滞が半減しました！ ※吉浦駅前～海岸四丁目

通常時



実験期間



旅行速度が
最大13.5km/h
アップ！

令和元年6月18日

市民部 地域協働課

天応市民センター防水板設置工事について

天応市民センターは平成30年7月豪雨により1階に土砂が流入し、災害対応及び避難者対応、市民センター業務等に大きな支障が生じました。

このため、地域の防災拠点である同センターの機能強化を図る出入口への防水板設置の改良工事を早期の完成を目指し、5月から行っていましたが、この度、工事が完了しました。

これにより、今年の豪雨災害時と同規模の土砂の流入があった場合でも、これを防ぐことができるようになり、地域住民が安心して避難できる環境を整えました。

○防水板の概要

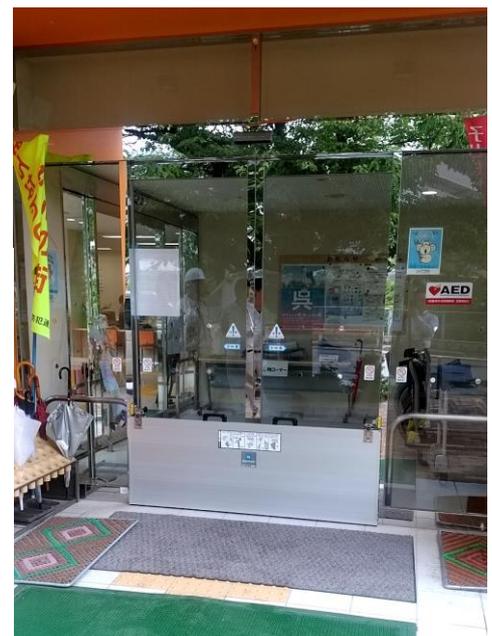
- ・脱着式防水板（支柱にパネルを差し込んで組み立てる方式）
- ・防水板の高さ 60cm（※今年の豪雨の浸水深 約40cm）
- ・設置箇所数 11箇所（※市民センターの出入口全てに設置）

○工事概要

- ・工事費 6,837,480円(税込)
- ・契約日 令和元年5月9日
- ・施工業者（株）三和工芸舎
- ・工事期間 令和元年5月9日～6月14日



↑ 駐車場側入口



↑ 正面入口